

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

平成 30 年度第 1 回美里町在宅医療介護連携推進会議

2 開催日時 平成 30 年 6 月 1 日（金）午後 6 時 30 分から午後 7 時 47 分まで

3 開催場所 美里町健康福祉センター 2 階研修室

4 会議に出席した者

（1）委員

横山眞和委員、玉手英一委員、大蔵暢委員、野田清一委員、木村泰之委員
木村文委員、佐々木義夫委員、尾形文克委員、東海林奈菜絵委員

（2）事務局

渡辺克也、伊藤博人、相原浩子、横山太一

（3）その他

涌谷町福祉課包括支援班 佐々木敦、渥美真子

5 議題及び会議の公開・非公開の別

議題

（1）事業の振り返り

（2）現在の課題とその解決に向けて

（3）「切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築促進」への取組みについて

（4）「美里町の在宅介護福祉の便利マップ」（町民向け）について

会議の公開・非公開の別

公開

6 非公開の理由

7 傍聴人の人数

0 人

8 会議資料
別紙のとおり

9 会議の概要

(1) 議題に入る前の確認事項等

- ・会議は原則として公開とし、傍聴者は5人程度とする。
- ・会議録を調製し公開することとする。会議録は要約筆記とする。
会議録の調製後、2人の委員に署名をお願いする。署名委員については各会議の冒頭で座長が指名することとする。
- ・会議の座長として、横山眞和委員が選出された。
- ・各委員、事務局等の自己紹介の後、議事へ

(2) 議事

横山委員長	事務局から説明のあった議事録署名人を選任します。大崎調剤薬局の木村委員と、JAみどりのふれ愛福祉センターの木村委員の御二人をお願いします。よろしいでしょうか
	(二人とも了解)
横山委員長	それではよろしく申し上げます。 続きまして議事に入りたいと思います。(1)事業の振り返りについて事務局の方から説明をお願いします。
相原技術主幹	<p>私の方からこの2年間の振り返りということで、御説明させていただきたいと思います。</p> <p>今回から委員になっている方も何名かいらっしゃいますので、この2年間の動きについてお話ししたいと思います。</p> <p>昨年度までの2年間、この会議で在宅医療と介護の連携というあたりを検討させていただきました。</p> <p>最初に資料2をご覧いただきたいと思います。こちらは国の資料になりますが、高齢者は医療と介護の両方を必要とする方が多くいらっしゃいます。2025年に向かって高齢者がどんどん増えていくことを踏まえまして、医療と介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるようにということを目的として、地域の医療・介護の関係団体が連携して、必要な支援を行うことが求められております。</p> <p>そのため、町が中心となりまして、関係団体の連携体制を作ることが、大変今重要となっております。そのような中で美里町としては平</p>

成 27 年度から準備委員会を立ち上げ、取り組みを始めました。全国的にも今年度から取り組んでいるという状況であります。

在宅医療と介護連携推進事業の内容としましては、2 ページをご覧くださいなのですが、アからクまでの事業が記載されております。

- (ア) 地域の医療・介護の資源の把握
- (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築
- (エ) 医療・介護の介護関係者の情報共有の支援
- (オ) 在宅医療・介護関係者に対する相談支援
- (カ) 医療・介護関係者の研修
- (キ) 地域住民への普及啓発
- (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携

となっております。

次に資料 1 をご覧いただきたいと思います。

美里町では、平成 27 年度に準備委員会、平成 28 年度から在宅医療介護連携推進会議を行ってきております。

その中で、皆さんグループワークをしたり、課題等を書き出したりなどで話し合われた中身なのですが課題として、大きく 3 つがあがってきました。

- ・ 専門職でもわからない制度や病気があるが、専門職も町民もどこに聞いてよいかわからない。ということで事業所や医療関係機関の一覧ですとか、専門職の役割がわかるとよいのではないか。
- ・ 顔がわからないと相談がしにくい。お互い専門職同士も同じなのですが、顔の見える関係づくりをしたらどうか。
- ・ 専門職が連携の必要性をわからないと連携ができない。ということで連携の必要性とかがわかるような職員になれるようにスキルアップをしたらどうか。

というあたりが課題として話し合われました。

この課題を解決していくために、町民ですとか専門職が、こういう姿であったらいいのではないかとこのところを、美里町としては目標として 3 つ掲げたところです。

1 番目に、困ったことを解決するために相談ができるような住民とサービスが上手く使えるような住民になれたらいいのではないかと、2 目として、町民の困ったことを支援できるように考えられるような

	<p>専門職とつなげられる専門職に、美里町の専門職がなれたらいいのではないか、3つ目として、町民を支援できる医療と介護の連携体制をつくっていったらいいのではないか、というところを目標として挙げさせてもらいました。</p> <p>この課題・目標を解決するために取り組んだところとしまして、医療従事者と介護従事者の連携を図れるために、もしくは町民が自分で動けるために「資源の見える化」をしていこうということで取り組みました。本日、皆様のお手元にも用意させていただきましたが、「美里町の医療介護福祉の便利マップ」ということで、一覧を作りました。今年の4月に配布させていただきました。町のホームページにも内容をアップしているところです。町民向けに関しては、今年度、配布できるようにということで、今、準備しているところです。</p> <p>後は包括支援センターを少し周知したほうが良いのではないかとということで、掲載しております。</p> <p>また、地域の力を高める啓発ということで地域住民の方にも医療連携の大切さをわかってもらうということで、町民対象の講演会を昨年度実施しております。ここにいらっしゃる大蔵先生の方にお話をいただいております。</p> <p>他にはスキルアップと顔の見える関係づくりということで、こちらも従事者対象の講演会ですとか研修会の方を実施させていただきました。</p> <p>後はこちらの推進会議を通して課題を把握していくということで、昨年度、4回実施しております。今年度は会議としましては3回実施予定です。</p> <p>これらについては、この2年間実施したから解決したということではなく、今後また3年間については、これらの取組については継続していきたいと考えております。</p> <p>振り返りについては以上です。</p>
横山委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、説明を聞きましたが、何か御質問や疑問に思うことがございましたら、御意見ください。</p> <p>マップを初めて見る方もいるかと思いますが、マップを作るにも、どのように作るのか、みんなで出し合って進めてきた。ただし、これだけ作って終わりというものでもないです。情報を載せているだけで、医療と介護が一緒になって何かをやるということではないので、この点はこれから進めていかなければならないところであると思</p>

	<p>ます。</p> <p>みなさん、何か今の説明でわからないところがありましたら...</p>
相原技術主幹	<p>私から、皆さんに御質問してもよろしいでしょうか。</p> <p>ここにいる委員の皆さん、事業所の方にこれが(マップ)届いているかと思うのですが、何回か使用してみたとか、御活用された委員さんはいらっしゃいますか。</p>
	【返答なし】
相原技術主幹	<p>作成して終わりというわけとはならないので、今年度末あたりには、どのように活用されたかというのは、アンケートを実施しようかと考えていたのと、ホームページにアップされたデータを、どの程度を閲覧されたのか、ダウンロードされたかを伊藤補佐から確認してもらったところ、この2か月だけなのですが月30件程度のダウンロード数があったとのこと。全く活用されていないのではないということにはわかったのですが、実際にどのような場面でどのように必要だったのかというあたりを、改めて確認をしていこうかと考えております。</p>
東海林委員	お配りした時は直接手持ちで回られたのですか。
相原技術主幹	手持ちで回りましたが、診療時間外だったりもするので受付に渡したりとか、説明しては渡しております。
横山委員長	<p>できたばかりですからね。これから反応等あるかと思うのですが。ただ、少しアナウンス等しないとなかなか反応はないかと。</p> <p>病院の受付などに置いておいたら患者さんとか見ないですかね。見るかもしれないのではないのでしょうか。</p>
相原技術主幹	<p>これから町民向けに作る、もっと簡易なものを、どれくらい町民の方が活用いただけるかというところもあるかと思うのですが...</p> <p>わかりやすいものを作成しようかと思えます。後でまた御説明いたします。</p>
玉手委員	このマップは1部だけですかね。南郷病院にいただいたのは。各部署では、例えば病棟と外来など、そういうところで使いたいなと思えますが。
相原技術主幹	わかりました。後でお渡しできるようにします。
横山委員長	必要なところは1冊では足りないでしょうね。これはいっぱい作ったのですよね。
相原技術主幹	今増刷で対応しております。
横山委員長	それでは、議事の2番に進んでもよろしいでしょうか。
	【全員、了解する】

横山委員長	現在の課題とその解決に向けてということで、事務局、説明をお願いします。
相原技術主幹	<p>現在の課題と解決に向けてということで、議題1の振り返りの中でお話したのですが、こちらの3つの目標ですとか課題など、話したことについては取り組んでいきたいというところなのですが、この2年で顔の見える関係づくりですとか、連絡先がわかるとか、スキルアップなどに関しては、連携が図れる体制づくりというのを取り組んできたところです。ただ、少し気になってきたところが、委員さんからもお話が出ていたのですが、医療機関との連携というのが、もう少し検討していく必要があるのかなと考えております。</p> <p>現在、美里町には入院できる医療機関が町立病院ともう1か所の2か所しかないというところがありまして、主治医については涌谷町さんであるとか大崎市に持つ方も多く、町だけ変わっていくというのは難しいところがありまして、広域で考えていく必要があるかと思っております。</p> <p>昨年度の最後の会議の際にも説明はしたのですが、今年度から、本日この会議に出席していただいております、涌谷さんと一緒に課題解決というのを進めていきたいと考えております。具体的には資料1を見ていただきたいのですが、 から のあたりを考えているところです。</p> <p>まず始めに、私たち職員間も交流したり、やり取りをしていかなければいけないということを考えておりまして、打ち合わせですとか今回のような会議の出席というところでも、お互いの町の状況を把握したり、課題を共有したりということをしていきたいと思っております。</p> <p>もう1つとしては町民への啓発研修というあたりを、それぞれの町で違うことをするのではなくて、同じテーマで同じような内容で、町民の方も同じ方向を向いていけるような取組をしようというところを考えております。今年度は委員会に諮らなかつたことなのですが、大蔵先生の方にまたお話をいただければと思っております、美里町としては7月30日にというところで計画を立てております。</p> <p>あとは、医療介護従事者の研修についてです。こちらそれぞれの町でやっていたのですが、合同で一緒にやるということを考えております。今年度については、涌谷町の医療センターを会場にやらせていただいて、関係者が集まってということを考えております。できればその時に、この会議の委員さんと、涌谷町さんの方でも会議がありますので、そちらの委員さん方とも何らかの形で顔合わせできる</p>

	<p>ような機会があるとよいのかなということ、現在、計画しております。</p> <p>そのほか、実は涌谷町さん、介護の事業所さん、特に入所関係の事業所さんが少ないという状況にありまして、入所とかサービスを利用するという時には、美里町の方に通ってくる、要は美里町にある事業所のサービスを使うという機会が多いということがありまして、今までの美里町として、介護の従事者の方に対して行われた研修を、今後、涌谷町の介護の関係者の方も一緒にやる形で、医療連携の場ももちろんなのですけれども他職種連携ということも考えまして、できれば一緒にやっていけたらいいかなというところを考えておりました。</p> <p>以上です。</p>
横山委員長	<p>今、お話し出ましたけれども、涌谷町さんとの連携も含め一緒にやらなければならないのかもしれませんが、とりあえず遠田郡としての1つの形を作った方がいいのかなという感じがするのですけれどもね。</p> <p>何か御質問とか意見とかございましたら。</p> <p>大崎市は医師会の中に所謂、受付をするところを作っておりまして、事務というかケアマネとか看護師さんとか受付をして1つの形を作って、あとはそれをみんなにという形を作りつつあるみたいですけど、すっかり動いているかどうかはわからないのですけれども、どうもその、参加している先生方は往診をしているということでしたけれども、遠田郡もそうですけれども、あまり往診をしている先生方は多くないのですよね。</p> <p>大崎市は具体的に何か進んでいるのですか。</p>
大蔵委員	<p>僕は大崎市の、これと同じような会議に出席させていただいてまして、先生がおっしゃられている通り、市が在宅医療推進の支援センターというのを持っています、ただ、その支援センターと行政の方の包括と大崎市民病院の連携室が、実は役割が被っているところがありまして、あまり役割分担が上手くいってないので、いまひとつ支援センターの役割が上手くいっているとは言い難いのかなと思っています。</p>
横山委員長	<p>始まったばかりで、これからその辺が調整されていくのでしょうか...</p>
相原技術主幹	<p>昨年度から講演とか大蔵先生にお願いするものがあるのですけれども、こんな形で涌谷町と美里町とで、できるところは一緒に取り組みたいと考えてはいるのですが、大蔵先生の方から見て、このあたり少し考えてみるといいんじゃないかというところが、何かございます</p>

	<p>でしょうか。</p>
大蔵委員	<p>大崎市のこういった会議と、涌谷町のこういった会議、美里も参加させてもらって横断的に見て思うのは、結構課題って似ているのかなと思ってまして、サービス提供者、我々専門職があって、サービスの受給者というのは一般市民ですよね。まず1つの課題はサービス提供者の人たちの連携が上手くいってないということが1つ。2つめの課題はサービス提供からサービス受給に、つまり需要と供給があていない。需要があるのになかなかそれが見えてこなくて、実際、供給も上手くいっていない。たぶん、その2つが問題で、それじゃ具体的にどうすればいいのかというと、基本的には専門職の研修が1番目に対しては必要であると、そして、2番目に対しては周囲の啓蒙ということが大事になってくると思います。</p> <p>各自治体、結構そういうことをやっていると思うのですが、取組として大事なものは断続的な研修活動や啓蒙活動を結構やっているのですが、継続的に行うのがいいのではないかと考えておりまして、僕らは診療所で結構継続的に、継続的にといっても月2回くらい事例検討会というものをやっております、地域の医療、介護の専門職の人に集まってもらって事例検討会をやっていくと、これは専門職に対する継続的な研修になるのかなと思います。</p> <p>あと市民に対して継続的な啓蒙活動がないのかなと見てみますと、涌谷町が認知症などの事例に対して2か月に1回そういうことをやっているということ、なのでそういうあたりで、やることたぶん多いのですが、これを小さい町2つで効率的にというと隣の涌谷町と美里町で一緒にやることは非常にいい考え方なのかなと思います。</p> <p>以上です。</p>
相原技術主幹	<p>すみません。私の方からまた御質問よろしいですか。尾形委員になのですが、事業所として涌谷町と進めるに当たり、こんなことを考えるといいなとかございましたら。</p>
尾形委員	<p>今、横山先生からお話がありましたが、認知症の方というよりも精神疾患ですか、そういう方の紹介に伴いまして、明らかに自宅とか施設では難しいという方が普通に退院してきてという状態が増えていっているのですよね。</p> <p>特に大変なのはADLが中途半端な方で、どちらかというと内科よりも整形疾患ですか、例えば認知症があってたまたま骨折してしまって手術はしましたけども、1人で歩きだしますよと、という方が多く出てきていて、施設の方で預かることについてですが、かなり</p>

	<p>事故の確率が高いと、それで事故が起こった場合は施設の責任になってしまいますし、全部が全部無理だとは思いますが、それでも特に整形疾患の方に対しては、明らかに認知症がある方に対しては、そういった面談を盛り込むのは難しいのかなと...手術してから退院までの間に、たぶん看護師さんだったり、お医者さんが関与していると思うのですけれども、なかなか介護施設の人が認知症があるから病院に行ってくださいとか、なかなか聞いてもらえないケースが多いです。そこが病院の主治医の先生から言われたとか、看護師さんの偉い人から言われたとなると割と受け入れているようなので、骨折以外にも認知症についても面談をしていただいて、その方にあった施設選びというものができればいいのかなと考えていたのですけれども、すごくトラブルが増えてます。</p> <p>高齢者が増えている中、施設の方が利用者さんを選んでいくという時代になっている。そうすると本当に介護が必要で特に家では見れないという方の行き場がなおさら無くなってきますし、働く人がいない介護施設を増やしても、結局、見れる範囲は限られてくるので悪循環になってくるのかなと...というのが現状なので、一番初めにやはり具体的にやってもらいたいのは、やっぱり認知症の方の具体的な対応の仕方ですね。そういったところをどうしていけばいいのか...</p>
横山委員長	<p>今、お話があったとおり大変な患者さんというよりも、非常に難しい扱いの人って多くなってきてますよね。家族だけの問題ではなくて、本人もどうしてよいかわからないというのではなくて、あちらこちらに逆に相談して、あちらこちらから意見をもらってしまって何に進んでいるのかということがありますので。</p> <p>今の課題というか解決策というか他に何かございますか。次の議事にも関係してくると思うのですけれどもね。何もなければ次の議事をお願いいたします。</p>
相原技術主幹	<p>今みたいなお話のところになってくると思うのですけれども、職員間の連携、関係者の連携の質を良くしようというのであるとか、関係づくりをしていこうということは取り組んだところなのですけれども、そのサービスの提供体制の在り方、その情報をどのような形でやっていくのか、この人どんな形でやっていくのかとか、介護に結び付けるのかとかというあたりは、まだまだ検討をしていかなければならないところかなと思ってますし、すぐに解決できるようなことでもないかなと思っています。</p> <p>取組は何らかの形でしていきたいとは考えておりまして、仕組みを</p>

	<p>ですね、構築するために、今、美里町にある仕組ですとか資源というところを確認するところから始めていけたらどうかと思っておりました。</p> <p>マップは作ったのですが、これは町にこのようなものがあるよ、というマップでして、こことここが連携して情報のやり取りができるようになっていくとか、実際、往診していただいている先生たちがどんなふうに活動しているのかということろまでは、まだ把握ができていないところですので、それを把握しながら、できること、もうちょっと考えた方がよいのは何なのかということ、今年度、この会議で取り組んでいけたらよいのかなと考えておりました。</p> <p>次回までに、町にある連携の仕組ですとか、資源というあたりを把握して、この会議で確認できたらいいかんと思っていたところです。</p> <p>この1年で何か大きなところをというよりは、もう少し町で解決していかなければならないことを考えていたところでした。</p> <p>以上です。</p>
横山委員長	構築、推進するための取組、具体的なものを作っていくしかないのですよね。
相原技術主幹	<p>そうですね。そのためにも、今、どういう現状にあるのかということ、少し、こうあったらいいな、だけではなくて、こうであればもしかしたらできるかもしれないとか、ここに働きかけようとかというあたりを考えるためにも、もう少し現状を把握したほうがよいかなと思っています。</p>
横山委員長	<p>何か、御意見とか御質問とかございましたら。(特になし)</p> <p>私からですが、具体的には例えば在宅で見ている人が急変した際、どうするか。救急車を呼んで市民病院へ運ぶかと...それも可能かもしれないですけども、それも市民病院としては受付は難しいと思うのですよ。だから、例えば入院施設があつてとなると、例えば美里町で在宅で急変した際には24時間とは言いませんけれども南郷病院で受けてくれないかなとか、そういうのを具体的に作っていくしかないのでしょうか。</p> <p>そのような形を作って、100%オーケーとはいかないかもしれないですけども。</p> <p>後は、例えば、その人がどのような医療を受けたいとか、在宅で何のサービスを受けたいとか、そういうまとめ役ですよね。</p> <p>結局、あちこちに出しているとまとまらないので、コーディネーターのようなもの、それ専門の仕組みを作って、そのような人がいない</p>

	と、まとめ役がいないと、ばらばらだと非常に難しいと思います。福祉センターの中に部署を作って、すべて受け付けると。全部できるかどうかは別ですが、受け付けて、それに必要な医療とかサービスを、そこから発信していくような形を作らないと、多分、話しているだけになる。その辺の形を作るような具体的なものを考えてはどうなのでしょうね。
相原技術主幹	委員さん方、どうでしょうか。もし、こういうの考えみたらどうかとか、御意見あれば...
東海林委員	先ほど、在宅の患者さんが夜間に急変した時の受け入れの病院や、認知症の方の急変の受け入れの病院がないとか、やはり色々な所でお伺いする共通の課題であり、美里町さんもそうなのかなというところで、皆さん御存知かわかりませんが、宮城県の病院協会で在宅患者さんの入院受入態勢の輪番制を実施しております。美里では野崎病院さんが輪番に入っているんですけど、じつのところ、それがどのくらい御協力いただいているのか、私自身、状況がわからないなと思っておりまして、ただ、実際にはそういった体制が上手く回っているのか状況を検討された方がよろしいのかなと思いました。
横山委員長	ある程度、受けてくれているみたいです。月60件くらいは受けてくれていると聞いております。ただ、具体的にどこが受けているのかとかは出てこないんで、当たっているところが全て受けてくれているのかは疑問は感じているんですけど...
東海林委員	介護施設からの受入も制度上受け入れるようにはなっている。
横山委員	そうですね。
東海林委員	実際に事業所さんが、活用されることもあるのかとか、そういうところを知りたいなと思っておりまして。
横山委員長	グループホームとかでも、急変した際に受けてくれますよ。例えば市民病院とかでも。
相原技術主幹	佐々木委員のところの施設は、急変した際とか医療で困った時の受け入れとかはございますか。
佐々木委員	今のところは医療で困っていることはないですね。 今は大蔵先生のところと、あとは民主病院さんの往診を受けておりますので...ケアマネジャーがコーディネートされているところは問題ないのしょうけれども。そうでないところが、色々困るのかなということになるのしょうね。後はケアマネジャーにも色々ありまして、どこまでその人のことを考えてコーディネートしているかにもよるのでは。人によってばらばら、若しくは事業所によってばらばら

	<p>というところもあるので、今、一番、医療と介護の間に入っているのが、今の仕組みがケアマネジャーさんです。</p> <p>今、事業所でも色々と検討していて、横の繋がりを取ろうとはしているのかもしれませんが、その部分がいまいよいよ見えてきていないですね。先ほど言われたように、それをコントロールするところが町にあった方がよいのかなと思っています。</p>
横山委員長	<p>民主病院は緊急の際には入院させてくれるのですか。</p>
佐々木委員	<p>夜間は基本的には救急車なのですが、8時から夕方くらいまでは対応していただきます。</p> <p>そのような意味では私たちは連携が取れているといえますので、不安は今のところありません。(他も)同じような状況を作ればよいのかと感じます。</p>
相原技術主幹	<p>その辺り、少し次回の会議の際に把握できる範囲で状況をお伝えしたいと思います。</p>
横山委員長	<p>それでは、今の件はよろしいですかね。</p> <p>最後に美里町の医療介護福祉の便利マップ(町民向け)について説明をお願いします。</p>
相原技術主幹	<p>皆様のお手元に、美里町の医療介護福祉の便利マップということで、あくまで案の状態ですので、こうしたらよい等の御意見があれば、お話しいただきたいのですが、先に事業所さんにお渡ししたものの地図の部分は活用して、事業所の連絡先等以降については簡単に載せました。地図とリンクできるように調整はしたのですが、事業所名と所在地と電話番号というあたりを中心に記載しております。</p> <p>これをできれば秋くらいまで作っていきたいとは考えているのですが、今後、全世帯に配布をして活用していただければと考えております。ホームページにもアップをしてというところを考えております。</p> <p>以上です。もし御意見がありましたら6月中旬くらいまでに誤字脱字も含めて御意見いただければ修正したいと思います。それ以降、印刷の作業を進めていきたいと思っています。</p>
野田委員	<p>住民側が知りたい情報として、例えば私は歯科医なのですが、住所、診療時間とか記載されてはいるのですが、一番知りたいのは往診をやってくれる歯科とか、そのような情報があるとよろしいのではないかと思います。それが一番大事な記載なのかなと思います。</p>
横山委員長	<p>でも一応、往診診療とか記載されているところもありますよね。</p>
相原技術主幹	<p>少し確認してみます。</p>

横山委員長	再度、事業所等に戻して、この内容で発行していいか確認するとよいかもわからない。
東海林委員	簡単でよいので目次を付けるとわかりやすいと思う。
横山委員長	他に何かございますか。
大蔵委員	先ほどお話しで出ました、在宅ケアのマネジメントのハブになる部署というか、そのような箇所が必要であると思ひまして、例えば大崎医師会が持っている支援センターのように、遠田郡医師会が持つということは可能なものなのではないでしょうか。
横山委員長	<p>遠田郡医師会は難しいですね。というのも事務所というものが涌谷にあるのですが、大崎市と比較して非常に狭い1部屋の空間で事務員がいるだけなのです。それと、医者数が遠田郡は16施設、33人なのです。たぶん、大崎の5分の1以下ですよ。そのような状況なので、大崎市では支援を組んでいるドクターは10人近くいますよね。ところがこちらで10人というのは、まず集めること自体が難しい話なので、中には眼科とか整形とかいろいろありますので、そのような意味では、医師会の内部で調整するのは難しいかもしれませんね。人数が、そこが難しいですよ。</p> <p>本当は病院内に置くのが、例えば涌谷の国保病院内とかに置くのが一番よいのでしょうかね。</p>
大蔵委員	栗原などは確か中央病院に置いていたと思います。大崎なども事務員は2人だけなんです。でも規模が違うということですね。
野田委員	町の職員の方にケアマネジャーの資格を持っている方は、結構いらっしゃるのですか。
相原技術主幹	何人とは言えませんが、結構持っております。保健師は資格が取れる職員が持っている状況で、包括支援センターは取れる職員は皆取っております。
大蔵委員	社会福祉士も結構いるのですか。
相原技術主幹	社会福祉士は、本日出席している横山と、今年度の新規採用職員の菅井という者と、包括には非常勤職員で1人おりまして、今のところ3人です。
横山委員長	今の状況で(在宅医療の)専門の職員を置くということは、町の職員が2人抜けるとなると、なかなか数が合わなくなってくるでしょうから、それに向けて計画を立てながらその部署を作るような予算等を置いてもらわないと、たぶん無理だと思います。
相原技術主幹	大蔵先生もお話しがあったのですけれども、例えば、どこにあったらよいのか、新たに作った方がよいのか、今あるもので何かを検討し

	<p>ていった方がよいのかを含めて、涌谷町さんとも一緒に検討していくようにはなるのかなと思っております。</p> <p>美里町で考えていくことは難しいことです。</p>
横山委員長	<p>マップに関してはこのようなことでよろしいですね。各施設に再度確認してもらい、往診のことも付け足していただければ。</p>
相原技術主幹	<p>こちらで確認します。</p>
横山委員長	<p>委員の皆様から御質問や提案等ございますか。</p>
	<p>意見等なかったため会議終了 午後7時47分</p>

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成30年7月20日

委員 _____

委員 _____